

## Vol.55 「小中一貫教育校」への期待

小学校6年間と中学校3年間の学校教育を一体的に行う「小中一貫教育校」が、全国に広がりを見せています。小中一貫は、教育課程を4-3-2制、3-4-2制などに分け、従来の小・中学校教育の6・3制にこだわらず、9年間を通じ弾力的なカリキュラムを編成する新しい教育方法です。今回は、中学生以下の子どもを持つ保護者の方を対象に「小中一貫教育校」への期待を調べました。

## 調査概要

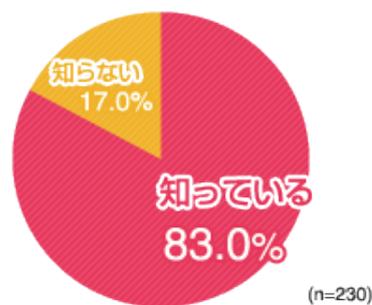
調査対象：全国の中小学生以下の子どもを持つ  
保護者203人

調査方法：インターネットリサーチ  
実施時期：2010年4月



## Q 「小中一貫教育校」の認知状況

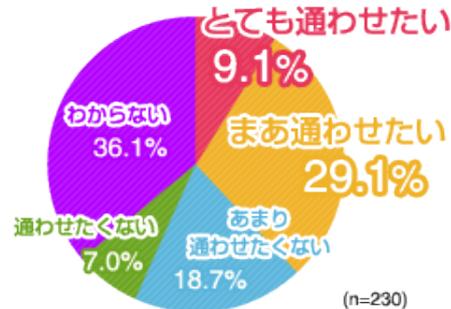
中学生以下の子どもを持つ保護者で「小中一貫教育」を行なう学校があることを「知っている」と回答した人は83.0%で、多くの親御さんが小中一貫教育校の存在を認識しています。



【図1】「小中一貫教育校」という学校があることをご存知ですか？(単数回答)

## Q 「小中一貫教育校」への子どもの通学意向

「小中一貫教育校」に自分の子どもを通わせたいと思っている親御さんは、「とても通わせたい」、「まあ通わせたい」を合わせて38.2%でした。通わせたい理由としては、「環境が変わらない方が安心できる」「学業に専念できそう」という声が多く、通わせたくない理由としては、「人間関係が偏る」「授業料が高い」「利点がわからない」という声が聞かれました。



【図2】「小中一貫教育校」に子どもを通わせたいですか？（単数回答）

### ◆「通わせたい」理由

- ・環境が変わらない方が安心できる。(30代女性)
- ・先生の指導力がありそうだから。(40代女性)
- ・学業に専念できそう。(30代男性)
- ・教育方針がしっかりしていそうだから。(30代男性)
- ・勉強以外の生活面等まできちんと指導してくれているイメージがある。(40代女性)
- ・小学校から中学校へと突然違う種類の学校へ行くのではなく、緩やかに移行するので、子どもの戸惑いが少ない。(30代女性)

### ◆「通わせたくない」理由

- ・環境は変わった方がいいと思う。(30代男性)
- ・変化が無いと発想が乏しくなる。(30代男性)
- ・人間関係が偏ると思うから。(40代女性)
- ・競争がないため子どもがだれる。(40代男性)
- ・授業料が高い。(30代女性)
- ・利点がわからない。(30代女性)

【表1】「小中一貫教育校」に通わせたい・通わせたくない理由（自由回答）

 **まとめ**

小中一貫教育校の存在は、中学生以下の子どもを持つ保護者の8割以上が「知っている」と回答しています。しかし、実際に子どもを通わせたいという親御さんはその半数以下の4割に満たない結果でした。その背景としては、「小中一貫教育校は知っているが、どのような利点があるかわからない」という6・3制との違いや教育内容の不明瞭さがあるようです。

通学意向は賛否両論ありますが、小中一貫教育のメリットについては、「環境」と「勉強」の面が挙げられています。特に、中学進学直後に勉強が急に分からなくなる「中1ギャップ」の解消や、人間関係の変化による不安などにより学校に通えなくなる「不登校」を防ぐなど、学力向上はもとより、生活指導面や心の育成面など、さまざまな効果が期待されています。

毎月最終  
火曜日  
更新

**kanko ホームルーム ~学生を読み解くデータ集~**

kanko ホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。

ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

**検索**<http://ozaki.jp/homeroom/>